

## 令和元年度 第3回紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録要旨

【開催日時】 令和2年3月12日（木） 13時55分から14時50分まで

【開催場所】 紀の川市役所 本庁3階 庁議室

### 【出席者】

○紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会（委員8名内7名出席）

中谷委員（和歌山県那賀振興局地域振興部企画産業課 課長）

仁藤委員（近畿大学生物理工学部地域交流センター センター長）

野村委員（紀の川市立地企業連絡協議会 会長）

飯田委員（株式会社日本政策金融公庫和歌山支店 支店長）

前島委員（和歌山公共職業安定所 所長）

中村委員（株式会社和歌山放送 代表取締役社長）

折居委員（紀の川市自治連絡協議会 会長）

【欠席】 林委員（紀の里農業協同組合総合企画部 部長）

○事務局（企画部）（4名）

今城企画部長、角企画部次長兼課長、児玉、西川

○傍聴人（0名）

### 【会議の概要】

1. 開会（13：55）（司会：角次長）

2. 会長挨拶

紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 仁藤会長から挨拶。

3. 議題

○議長（仁藤会長）

「会議を公開」するために簡潔に取りまとめた議事録と写真の公開並びに音声録音の承諾。

委員の過半数以上が出席しているため、会議が成立していることを報告。

議題 i) 「紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の修正・延長について

(資料①・①-1)

次期総合戦略を令和2年度中に策定するにあたり、地方創生に向けた取り組みを切れ間なく継続して実施するために、現行総合戦略の計画期間を1年間延長する内容について説明する。また、この延長に伴い、現行総合戦略の内容の一部・数値目標・KPI指標等の修正および紀の川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの改訂・令和2年度から新たに実施を予定している地方創生推進交付金事業に関する所要の修正について説明する。

【質疑】

委員：指標値関係・目標値の修正の点で、ふるさと納税による寄付件数の部分は、少し要因の説明がありましたが、その他の項目については、目標達を達成している、あるいは目標値に近づいていることから、上方修正したと理解してよろしいでしょうか。

事務局：修正する指標（7項目）の最新の実績値について説明する・・（省略）・・。

最新の実績数値が目標値以上となっているもの（目標を達成したもの）について、新たな目標値を設定（上方修正）しています。

委員：ふるさと納税による寄付件数の伸びが顕著となっていますが、その要因については分析されているでしょうか。例えば返礼品の見直しを行ったというような。

事務局：特に返礼品を見直したということではなく、大きな理由として、以前は、紀の川市の「桃」を他の自治体でも返礼品として扱っていましたが、法改正により返礼品が地場産品に限られることとなりました。納税者の皆さんは「あらかわの桃」や「紀の川市産の桃」を返礼品として求められる方がほとんどであり、紀の川市だけが「桃」を扱えるようになったことが最大の要因だと考えています。

また、もう一つの理由は、新たな「ふるさと納税サイト」を追加したことが要因と考えています。

委員：総合戦略における「3. 基本的方向と具体的施策・評価指標（KPI）。」内で、指標以外の文言の修正については、地方創生推進交付金事業を新たに実施することによる修正でしょうか。

事務局：委員の質問のとおり、令和2年度から新たに実施を予定している地方創生推進交付金事業（単独1事業・広域1事業）に関する修正です。

委員：10ページ・11ページの中で、「観光ルート」を「観光コンテンツ」に修正していますが、KPI指標で「新たな観光ルートの構築件数」の項目があるので、統一的にこの部分も修正しては。

事務局：「新たな観光コンテンツの構築件数」に修正し、目標値についても再度精査します。

※審議会終了後に、観光部局と協議を行い、「新たな観光ルートの構築件数」については、H29～31の3ヶ年で実施している、地方創生推進交付金事業「紀の川フルーツ・ツーリズムビューロー推進による地域ブランド力強化事業」のKPI指標に設定しているため、修正は行わず、新たな指標として「新たな周遊化観光コンテンツの開発件数」を追加します。また、一部文言修正も行います。

委員：総合戦略に関する事業については、地域創生課の担当部分が大きいかと思えます。総合戦略推進における地域創生課の役割を明確化できれば。

事務局：地域創生課においては、人口減少対策や市のPR等に一体的に取り組んでおり、総合戦略を推進していくうえで、本当に重要な位置づけの業務であることは認識しているところです。

議題ii)「紀の川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の改定について（資料②）

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（令和元年改訂版）、最新の国勢調査や国立社会保障・人口問題研究所の人口推計等に基づき、2015年9月に策定した「紀の川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に時点修正を加えた改訂内容について説明する。

#### 【質疑】

委員：有配偶者の割合は県平均より高いが、合計特殊出生率が低迷している要因について、どのように分析していますか。

事務局：合計特殊出生率の計算方法では、紀の川市での出生数が計算の基礎になり、例えば、結婚を機に、岩出市や和歌山市の賃貸住宅に転出し、子供が生まれた後に、世帯で紀の川市に帰ってきた場合は、出生率に影響を与えません。

合計特殊出生率自体が、子供を産みやすい・育てやすい環境であることを直接的に表す数字ではないと考えます

10ページにも示しているとおり、子育て世代が年少者とともに転入している傾向はありますが、年少者の数自体は減少している状況です。

不妊治療助成等、子供の生みやすい環境づくりへの取り組みは継続しており、住宅の問題等で結婚してすぐに転出される方が多いという点が大きな問題ではないかと分析しているところです。

委員：人口ビジョンにおいて、外国籍の方の人数は含まれているのでしょうか。

事務局：国勢調査の部分には、外国籍の方の人数も含まれています。

委員：9ページの転入・転出の状況では、移動前・移動後の住所地が国内のみとなっていますが理由は。

事務局：9ページの転入・転出の状況では、移動数が多い主な地域を抜粋していますので、その他の国内や外国からの転入・転出もございます。

委員：外国籍の方の人数は把握していますか。

事務局：統計としては含んでいる状況ですが、外国籍の方の人数に限定して算出するには時間を要します。

委員：今後、外国籍の方の増加も予想されますので、活用データとして算出していただけたいと思います。ご検討ください。

#### 【その他】

議長：まだ少し時間がありますので、各委員からそれぞれの分野・社会状況等についてご意見いただければと思います。

委員：紀の川市を知らない方も多く、観光振興課からの依頼で、フルーツなどいろんなパターンがある名刺の台紙を使用し、紀の川市を積極的にPRしています。

委員：京奈和関空連絡道路は紀の川市にとって戦略的にも極めて重要なプロジェクトと考えます。実現すれば紀の川市だけでなく京奈和道路沿線の自治体・住民にとっても大きな意味を持ちます。

関空への所要時間の短縮など、できるだけわかりやすい具体的な情報を示すことで、プロジェクトの意義・地域への効果を理解してもらい、実現に向けて市民の方々に現実味を持ってもらうような取り組みが必要だと感じています。

事務局：京奈和関空連絡道路の整備については、現在、22の自治体で協力し、早期実現に向け国への働きかけ等に取り組んでいるところです。

総合戦略の中には具体的な事業については触れておりませんが、様々な事業を進めていくうえで、京奈和関空連絡道路の整備は、直接・間接的に関わりがあると認識しています。

市民の皆さんに、わかりやすく、より具体的に説明しアピールすることは、今後の取り組みにおいても非常に重要でありますので、こういった点も踏まえながら、引き続き、建設推進に向けた取り組みを進めていきます。

貴重なご意見ありがとうございます。

## 6. その他

事務局：現行審議会委員の皆様の任期満了にあたってのお礼。

次期審議会委員の選出にあたっての協力依頼。

## 7. 閉会（14：50）